

# はじめてのBCP

(事業継続計画)



いま、  
リスクと向き合いましょう。

その時、  
企業が生き残るために、

# なぜ、いま

リスクの影響を  
受けやすい中小企業  
ほど、BCPが  
必要です!



## BCPが必要なのでしょうか?

**BCP (Business Continuity Plan) とは**  
**「事業を止めないで継続するための計画」**です。

企業を取り巻くリスクには様々なものがあります。

たとえば、地震・風水害などの自然災害のリスク、新型コロナウイルスなどの感染症のリスク、また火災・停電・コンピュータウイルスなどのリスクも考えられます。

企業が将来にわたって存続していくためには、どのような事態になっても事業を継続する、また休止しても早期に再開するための計画が必要です。それが、「BCP (事業継続計画)」です。

## 企業の「社会的な使命」を果たすためには BCPの策定が欠かせません。

緊急時に、地域から災害対応活動が期待されている企業も多いと思います。地域貢献は自らの市場や従業員の生活環境、地域インフラを守ることに繋がります。BCPの策定は、企業の社会的な使命を果たすために欠かせないものです。

### 供給責任

商品・製品・サービスを  
待っている人がいます。



### 雇用責任

従業員とその家族の生  
活を支えています。



### 地域貢献

従業員・顧客・取引先  
は、地域共同体の一員  
です。



**BCPを策定して**  
**取引先・従業員・地域社会の信頼に応えましょう**

# BCPは、単なる「防災計画」ではなく 様々なリスクに対応し 事業を継続するための「経営計画」です。

自社の経営資源「ヒト」「カネ」「モノ」「情報」の  
リスクへの対応力を高め、事業継続力を高めます。

BCPは、単なる「防災計画」ではありません。企業を取り巻く、様々なリスクに立ち向かい、事業を継続するための「経営計画」の一つです。

BCPでは、「ヒト」「カネ」「モノ」「情報」という自社の経営資源に対するリスクについて検討を行います。その中で自社の経営の弱みやボトルネックを見つけ出し、事前に何をすべきかの計画を立て、その対策を実行することで、自然災害等が発生した時の被害の軽減を図ります。

また、経営資源を見つめ直すことは、自社の経営課題の発見につながり、さらには経営改善にもつながります。

BCPの策定を通じて、様々なリスクへの対応力、事業継続力を高めましょう。





# 自社のヒト・カネ・モノ・情報ごとに 事前対策・計画を立てましょう。

## ヒト

### 中小企業は、一人ひとりの人材の重要性が高くなります。

従業員数の少ない中小企業は、人材一人当たりの重要度が高くなります。とくに危機対応の司令塔である経営者に万一のことがあったら大変です。そのため、自助・共助や代役の検討を考えておきましょう。

たとえば、こんな対策!

#### ●「人命の安全確保」が第一

災害発生時の従業員等の避難方法をあらかじめ確認しておきましょう。

#### ●安否確認のルール、システムづくり

災害発生時に真っ先にやることは、社員およびその家族の安否確認です。電話が不通になっても従業員・家族、取引先等とも連絡が取れる方法を決めておきます。

#### ●経営者等の代役を決める、多能工化をすすめる

万一の時、社長の代わりになる人を決めておきます。また人員減少時・事業縮小時に備えて、一人の従業員が様々な業務をできるような多能工化もすすめておきましょう。

#### ●防災教育、感染予防教育も忘れずに

地震等はプライベート時間でも発生するため、社内はもちろん家庭や地域での防災活動の教育も重要です。また感染症については、普段から感染予防対策を習慣づけることが大切です。

#### ●多様な働き方に対応できる体制づくり

時差出勤、在宅勤務、オンライン会議など、多様な働き方に対応できる社内体制についても検討しましょう。



## カネ

### 復旧・再開までには、多くの時間と資金が必要です。

資金（カネ）が枯渇すると企業は事業継続ができなくなり倒産してしまいます。業務の復旧と再開には、多くの時間と費用が必要です。そのための資金繰りをどうするかを考えておきましょう。

たとえば、こんな対策!

#### ●自社の資金力の確認

自社の資金を考えて、いつまでに復興しなければならないかを確認します。復旧・再開までの運転資金として6か月分程度を確保するよう努めましょう

#### ●自然災害・感染症リスクに対応した保険の活用

長期的なリスクファイナンス対策として、保険活用も検討しましょう。

#### ●再建に必要な資金を事前予約

静岡県事業継続モデルプラン（第3版）など指定の様式を利用してBCPを策定した企業は、激甚災害発生時の資金融資について、静岡県信用保証協会のBCP特別保証を予約できます。



# モノ

## サプライチェーンを寸断させないようにしましょう。

サプライチェーンとは、材料の調達から製造、物流、販売までの企業と企業のつながりのことをいいます。BCPでは、自社の操業停止が他社の操業停止に、またその逆の状況を招かないような対策を考え、事前に取り決める準備と体制づくりが必要です。

たとえば、こんな対策!

### ● 仕入先・取引先の代替を考える

仕入先・取引先が被災して仕入れ等ができなくなった時のために代替先を確保しておきます。



### ● 相互支援協定を結ぶ

自社が被災して、取引先への納品ができなくなってしまうように協力会社や同業他社との相互支援協定を結び、緊急時の委託生産などについて決めておきます。



### ● 自家発電・蓄電設備の設置

停電時などに機械・機器を稼働させる自家発電設備、蓄電設備の導入も検討します。



### ● 衛生品の備蓄、感染症対策設備の導入

感染症対策として、マスクや消毒液などの衛生品の一定の備蓄、また換気設備の導入を検討します。

# 情報

## 企業活動に欠かせない「データ」を守ることが大切です。

企業活動における「情報」の重要度は、年々高まっています。被災時に備えて、大切なデータの二重化、情報セキュリティの強化などを日頃から進めましょう。また、正確な情報の「収集」方法や、自社情報の「共有」「発信」方法についても確認してください。

たとえば、こんな対策!

### ● 自社情報の共有・発信体制の整備

自社の被災状況や感染情報などを、ホームページやSNSなどを活用して、顧客・取引先・地域社会に発信・共有する方法と体制を整備しましょう。



### ● クラウドサービスの活用

社内にバックアップデータを保管するだけでなく、インターネット上のデータセンターに保管する「クラウドストレージサービス」を利用し、データを二重化します。

### ● 情報セキュリティの強化と情報教育

テレワークなどに備えて情報セキュリティを強化するとともに、従業員の情報教育をすすめましょう。



## 自社の経営資源にくわえて インフラ・社会経済等の影響も想定

BCPの策定にあたっては、ヒト・カネ・モノ・情報などの経営資源にくわえて、電気・ガス・水道・道路・交通機関等のインフラ（停電・断水、交通遮断等）や、行政（緊急事態宣言等）、社会経済（外出制限、営業自粛等）などの事業活動への影響も想定して、事前対策・計画を立てる必要があります。



# B C Pの策定と運用の手順

B C Pの策定と運用について簡単に紹介します。また、感染症リスクに対応するためのポイントについても補足します。

## B C Pの策定の手順

2～5は順序にとらわれず、常に見直しながら計画を策定します。

### 1.基本方針の立案 何のためにやるのか？

「人命第一」を基本として、「供給責任」「雇用責任」「地域貢献」という社会的使命を踏まえて、経営方針・経営理念も組み込みながら、どのような方針で臨むかを決めます。



### 2.重要業務の検討 何をやり、何をやらないのか？

大災害時には、業務の復旧・復興に優先順位をつけて行動します。利益への影響、得意先との関係、社会的影響、災害協定対応等の要素を総合的に勘案して最優先復旧業務（重要業務）を明確にします。そしてそこに資源を集中投入します。



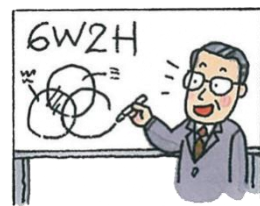
### 3.被災状況の想定と影響評価 今のままでどういう状況になるか？

自然災害等が発生した時の被害レベルを想定し、経営への影響を考えます。自社の重要業務の弱みを明確にするとともに、取引先・顧客の状況、インフラの被害等を想定し、業務再開時期（目標復旧時間）、操業レベルを決定します。感染症については、発生段階別に経営への影響を考えます。



### 4.事前対策の実施 どうすれば被害を軽減できるか？

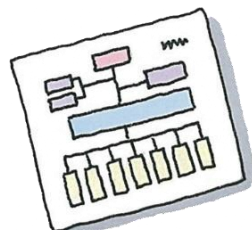
重要業務を目標復旧時間内に復旧するために、事前対策として必要なものを洗い出し、項目ごとに6W2H※で実行計画を立てます。感染症については、発生段階別の対策を踏まえて、事前対策を考えます。



※When (いつ)、Where (どこで)、Who (誰が)、Whom (誰に)、Why (なぜ)、What (何を)、How (どのように)、How much (いくら) の8つ。

### 5.緊急時の体制整備 誰が何をやるのか？

災害が発生すると同時に、通常の業務体制から非常事態体制に変わります。災害発生直後の初動対応の組織や、時間経過とともに復旧体制へ移行する組織を整備するとともに、その統括責任者とその代理責任者を決めておきます。体制を定期的に見直すことが大切です。





# BCPの運用の手順

## 1. BCPの定着 従業員への浸透・定着

BCPの内容や重要性を理解してもらうため、従業員に対する教育・訓練を行い、浸透を図ります。



## 2. BCPの見直し・改善 定期的かつ継続的な見直し・改善

BCPの内容が会社の実情にあったものにするために、定期的に、また必要に応じてBCPの見直し・改善を行います。

### 災害発生時、的確に動けるように平時から準備しましょう

いくら計画を策定しても、必要な時、役に立たなければ意味がありません。発災と同時に、非常事態体制に移り、一人ひとりが的確に行動できるように、平時から準備しましょう。

#### 非常事態体制の訓練をしましょう。

社長の「BCP発動！」宣言とともに、災害対策本部を立ち上げ、社内を通常組織体制から非常事態体制にスムーズに切り替えることができるように、平時から、BCP（防災）教育、感染症予防対策教育に取り組むとともに、BCP（防災）訓練や感染症に備えた時差出勤、在宅勤務などを定期的実施します。

これによって、不足したもの、見落としていたものを発見し、BCPをアップデートしましょう。



#### 一人ひとりの行動をマニュアル化しましょう。

その時、従業員一人ひとりがどのように行動するかを、BCPに基づいて文書化・マニュアル化しましょう。

被災した時にはマニュアル通りにはいかないことが多く発生しますが、訓練を重ねることにより、何のためにどう行動すべきかを理解していれば、想定外のことが起こっても落ち着いて対応できます。

感染症については、社内感染者の発生直後の対応手順等についてマニュアル化しておきましょう。



#### 地域・家庭との連携をすすめましょう。

中小企業は、従業員、お客様、取引先の皆さんと同じ地域社会の一員です。地域社会との協力・連携を積極的にすすめましょう。

また従業員とその家族の生命を守るために、家庭での防災教育、感染症予防教育にも取り組みましょう。



# さあ、BCPを策定しましょう。

静岡県ではBCPに関する  
様々な情報を提供しています。  
静岡県事業継続計画モデルプラン（入門編）  
などを利用してBCPの策定に挑戦しましょう。



静岡県 B C P

検索

## 静岡県事業継続計画モデルプラン（入門編）

はじめて策定する際に最適な、簡易的な入門用BCP様式（フォーマット）です。自然災害だけでなく感染症リスクにも対応したBCPの策定を容易にする「感染症対策補助シート」もダウンロードできます。また策定のための動画も用意しています。

<http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-510/BCP/modelplan/nyuumon.html>



## 静岡県事業継続計画モデルプラン（第3版）

本格的な災害リスクBCPの策定にあたってはこのプランが有効です。製造業だけでなく、商業、サービス業にも応用して使用できます。モデルプランに示された手順にそって事業継続計画を策定できます。

<http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-510/bcp/modelplan/3rd.html>

## 中小企業庁「事業継続力強化計画」

中小企業強靱化法に基づき、中小企業が防災・減災についての取り組みをまとめた計画です。認定を受けると、防災設備整備の税制優遇や補助金の加点などを受けることができます。

<https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/antei/bousai/keizokuryoku.htm>

## 中小企業BCP策定運用指針 第2版

入門、基本、中級、上級の4つのコースに分かれており、入門コースははじめての人でも大変分かりやすい内容になっています。豊富な資料が紹介されており、社員教育の資料にも利用できます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/bcp/download/bcppdf/bcpguide.pdf>

## BCP特別保証（災害時発動型保証予約）

静岡県事業継続計画モデルプランなど指定の記入様式を利用してBCPを作成した企業は、激甚災害時に金融機関からの融資に対する静岡県信用保証協会の保証を予約できます。

<https://www.cgc-shizuoka.or.jp/hosyo/bcp.html>



## 静岡県のBCPに対する各種支援制度

静岡県では、BCPの普及とより実効性の高いBCPの策定を支援するため、専門家の派遣による策定支援、指導者の養成、制度融資等、BCPの策定に積極的に取り組む企業を多面的にサポートしています。

<http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-510/bcp/>